



【写真左上】今だから分かる絵本の話
【写真左下】データサイエンスって何だろう

【写真右上】これからの社会で期待されるドローンの可能性
【写真右下】火山アナログ実験

GSP はあらゆる学問分野を網羅する

5月25日のGSP講座のタイトルを見ると、「看護」「絵本」「バイオ」「火山」「認知症」「医学」「ドローン」「栄養学」「データサイエンス」「司法書士」「ウイルス」「スマホ」といったキーワードが並びます。この日は理系寄りの講座が多かったですが、GSPは一年かけて本校生徒が志向する学問分野を網羅していく予定です。その背景にあるのは生徒と学問分野のミスマッチ防止。GSPは進路選択に寄与する星稜の特色教育の柱です。

【GSPを受講した生徒の感想】

・私はSDGsに興味があって、この講座を受けさせてもらいました。この講座はバイオテクノロジーに主に焦点を当てていて、難しい話も多かったけれど聞いていて楽しかったです。中でもバイオプリンターで食肉が作れるという話を聞いた時、とても驚きました。この講座は自分の進路について考える大きなきっかけになりました。[バイオによるものづくり]

・講師さんは患者さんのことを“みる”ということ大切にしているとのことでした。私の母も認定看護師ですが、今でも新しいことを学ぶことを怠らず、一人ひとりの患者さんにとっての幸せを考えてケアしています。私も、機械化が進んでいる現代社会でも自分の目で患者さんを見て、患者さんや、そのご家族一人ひとりと向き合って、最善を尽くし、多くの人の健康を守る仕事につきたいと改めて思いました。[社会における看護職の役割]
・中学生の時に、授業で絵本を制作した際、自分なりに絵本の活用の意義を「豊かな人間性を育む」と考えていたけれど、今日の講義を聞いて、絵本にはたくさんの役割があるとうわり、さらに絵本に興味を持ちました。小さい頃好きだった絵本をまた読んでみて、今の自分はどう思ったのかを書き留めておきたいです。今日は本当にありがとうございました。[今だから分かる絵本の話]



【今月の注目講座】

“若者がイノベーションをおこす”とは？

Inochi Gakusei Innovators' Program (以下、i-GIP) を運営する学生団体から、本校卒業生を含む14名の学生が来校してくれました。i-GIPは、中高生によるヘルスケア課題解決策を創出するプログラムを通して、ヘルスケア領域におけるアントレプレナーの育成を目指しています。

この日は「熱中症」をテーマとして扱い、高校生はグループを作って課題を出し合い、その解決に向けて討議を行いました。小学校の運動会や一人暮らしの高齢者など課題に応じた解決策を考える過程を通して、生徒たちはイノベーションをおこすきっかけがどこにあるか学んだ様子でした。そのグループワークの後i-GIPに所属する大学生による進路相談の時間も設けられ、高校生は各自の持つ疑問や質問を大学生に投げかけていました。



GSP JOURNAL

2024年度第1号

2024年5月25日



【写真左上】英語で異文化体験

【写真左下】女性が切り拓く工学分野のフロンティア

【写真右上】世界を相手に働く“おもしろい”大人たち

【写真右下】リアルタイム PCR 法によるウイルス DNA 検出

GSP = 主体的・対話的で深い学び

朝のエレベーターホールで英語の挨拶が交わされ、教室の中では学年の異なる生徒が同じテーマについてディスカッションし、廊下でも世界に羽ばたいた人生の先輩から語られる経験談に生徒が耳を澄ましている。こんな風景が今回の GSP ではあちらこちらに見られました。生徒たちが自分で選んだ講座に参加し、異なる価値観を持った他者と交わり、専門性の高い学びに身を投じる。これぞ GSP の真骨頂で、星稜の特色教育です。

【GSP を受講した生徒の感想】

◇テスト期間中はどうしても緊張したり、睡眠時間が短くなったりしがちだけど、休み時間などちょっとした時間に深呼吸をして、副交感神経を優位にさせる時間を作ることで自律神経を整えられ、夜もぐっすり眠れるようになるということがわかった。また、スマホの使いすぎは自律神経を整えることにあまり良くないと知ることができた。**【眠れるカラダづくりで圧倒的な睡眠スキルを養う】**

◇ゲストの皆さんの共通点は、もともと学んでいたり目指したりしていたものとは別の領域で活躍されていることでした。でも、そこに自分が本当にやりたいことがあるなら、それを大切に生きることにより開けた充実感のある人生をもたらしてくれるということがわかりました。実際にゲストの皆さん全員が楽しそうに話していて、やりたいことができる人生は本当に素晴らしいなと感じました。**【世界を相手に働く“おもしろい”大人たち】**

◇電気泳動している時に加えた色素が動き、徐々に色が変わっているのがすごくおもしろいと思いました。また、ゲルにブルーライトを照射した時に緑色に光っていてすごいと思いました。自分の直感を信じるのが大事だということや、間違ってもいいから自分で想像してみることが大切という先生のお話も聞けてよかったなと思いました。**【リアルタイム PCR 法によるウイルス DNA の検出】**

【今月の注目講座】

現役弁護士とディスカッション「ルール制定のための合意形成」

社会にはいろいろな価値観の人がいて、年齢や職業、育ってきた環境によって考え方は異なるものです。そんな社会の秩序を維持するためのルールがどのようなプロセスで制定されるのか、今回は「カラオケボックス」をテーマにディスカッションしました。

この講座で、「ルールに記載されていないことは好き勝手にしていい訳ではなく、利益の調整を図って、それに沿った行動をしなければならない」と生徒は学び、身近なルールであっても複雑な利害調整がされていることを理解したようです。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 2 号

2024 年 6 月 22 日





【写真左上】機械工学ってなにをするところ？/メカジョ大募集 【写真右上】あなたにも使える中国語
【写真左下】和の心を育む、着物着付け体験 【写真右下】リハビリテーション医療と理学療法

GSP で STEAM 教育&グローバル教育

今回の GSP では金沢大学や公立小松大学、金沢美術工芸大学などの協力を賜りながら科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術（Art）の各分野において、生徒たちの「学びを深めるタネ」が随所に盛り込まれた講座が開講されました。大学の模擬講義以外にも、世界とのつながりを意識できる講座や浴衣の着付け講座もあり、参加した生徒たちは充実した時間を過ごせたようです。

【GSP を受講した生徒の感想】

◇先生が自分と同じ陸上競技をしていたこともあり、とても有意義な時間になりました。陸上は特に映像分析が必要な競技であり、自分も使っていますがイマイチどう撮ったらいいのかということや、分析方法がわからなかったのが、無料のアプリや分析方法を教えていただきとても為になりました。ありがとうございました。[簡単スポーツ映像分析]

◇私は医療関係の仕事に興味があり、今回の講義の内容は非常に魅力的なものでした。手術支援ロボットや血液透析、人工心臓など、名前は知っていてもどのようなものか、どのような原理かは知らなかったことを映像や現物を用いて解説をしていただき、わかりやすかったです。また、医学部に入る以外にも医療に携われる仕事はあるのだと、自分の進路に対する視野が広がりました。

【最新医療技術と臨床工学技士の役割】

◇石川県の建物を例として挙げてくださったため、分かりやすく面白かったです。駅西広場の一本道の溜まりどころが、自然の景観があって毎回綺麗だと思ってたので、今回その設計に携っていた人のお話を聞いて嬉しかったです。講演の中で、デザインが縦糸ならば環境デザインは横糸という例えが紹介されましたが、それを聞いて驚かされました。[環境デザインの世界]

【今月の注目講座】

国際社会ではたらくグローバル人材とは？

本校の卒業生で、ブランドデザイン、コミュニケーション、デジタルデザインを得意とするクリエイティブエージェンシーを起業した方に、会社のメンバーと一緒に来校してもらいました。この講座の中では、「金沢のものを海外に広める」というテーマでグループワークとプレゼンテーションが行われ、講師から発想を得ながら活発な議論が展開されました。

アイデアを出し合い、議論を交わした生徒の中には実際に留学や起業を考えている生徒もあり「映像や広告の力で課題を解決しようというコンセプトのもと、国籍など関係なく多様な人とフラットにユニークな考えを持ち寄って活動している姿はとてもアクティブで素敵だなと思いました」といった感想が寄せられました。生徒の将来ビジョンが広がり、グローバル社会に対する理解が深まる講座でした。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 3 号

2024 年 7 月 13 日





【写真左上】元男性保育士が伝える「保育のお仕事」
【写真左下】金沢大学融合学域入試説明会＆ランチミーティング

【写真右上】緩和ケアについて、看取りケアについて
【写真右下】教育的遺伝子組み換え実験

職業を知り、人生を哲学し、学問を探究する

今月の GSP では金沢大学の理工学域と融合学域において、特別な選抜方式についての説明会が開催されて、本校から 30 名近い生徒が参加しました。両学域ともランチが準備され、教授や学生と打ち解けた雰囲気の中で貴重な情報を入手することができたようです。校内でも医療や理学、法学や経営学に加え生成 AI など専門性の高い講座が展開され、生徒たちは自分の学問適性について真剣に考えている様子でした。

【GSP を受講した生徒の感想】

◇生成 AI の仕組みを今までよく知らずに使っていたが、膨大な情報を集め組み合わせることで結果を出しているとわかった。最近画像生成 AI の著作権がよく話題になっているが、誰にでも作れるようなプロンプトでなければ認められる可能性もあるのだと分かった。全てを AI に頼ることなく自分の能力をより発揮できる使い方をしていきたい。

【生成 AI の仕組み】



◇マーケティングという言葉の意味がちゃんとわかった。自分からではなく相手から好意をもたれ、行動してもらうには自分の弱点と強み、機会、脅威をうまくあわせることが大切であるとわかったし、これを活かせば人間関係以外にも将来仕事に役立つと思ったのでとても有意義な時間だった。

【ドキドキ！恋のマーケティング大作戦】

◇講義を受ける前は何かの植物とかを使って実験すると思ってたけど、自分の髪の毛を使って実験すると聞いて、すごくわくわくしました。自分のアルコールに対する耐性を知るのは少し楽しみです。

【教育的遺伝子組み換え実験】

◇有名な機関にお勤めされていたりしゃった講師から様々な経験をお聞きして、グローバルな社会の中で必要とされるグローバルな人材について学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。【英語と国際理解】

【今月の注目講座】

生と死について考える -デスカフェを体験しよう-

日本ではタブー視されがちで、日常会話の中でなかなか登場しないのが「死」です。その「死」についてカジュアルに話せる場がデスカフェであり、今回は石川県立看護大学から講師を招き、石川グリーンケアの会にも協力を賜りながら講座が実施されました。

参加生徒の感想には「死について考える機会はなかなか無いので貴重な体験ができて良かった。班に別れての活動で他の人の意見を聞いて自分に無かった視点を得られた。終わりを明確に意識することで人生の選択肢は思っているよりも多いことに気づき、今をより有意義に過ごそうと思えたので忘れずに生きていきたい」というものがありました。この経験は自分の人生にとってプラスになり、社会に出て医療や福祉の道で活躍する際にも生かされるものになるはずですよ。



**GSP
JOURNAL**

2024 年度 第 4 号

2024 年 9 月 21 日



【写真左上】アンコンシャスバイアスに気づこう！
【写真左下】キャラクターイラスト「手足の描き方」

【写真右上】βカロテンの抽出・分離・定性分析
【写真右下】財政の力で未来の日本を救え！

自身の将来に向けたビジョンと技能を培う GSP

今月は、自分の人生や未来の社会について想起することができる講座が存在感を示していました。普段の授業の中では学びを今後の人生でどう生かすか、社会にどうやって貢献するのかといったことをなかなか考えることができませんが、GSP ではそれができます。講師からの教えをきっかけに他者と協力してアイデアを出し合う中で、これまで気づけなかった自分の内面性に触れ、視野を広げることができるのが GSP の良いところです。

【GSP を受講した生徒の感想】

◇今の日本がどれほど苦しい状況に置かれているか、財政の項目の管理がいかに難しいかわかった。税金の各項目を増減させる議論では、それによって良い点はもちろん生まれるが、悪い点も同時に生まれてしまうという問題にぶつかってしまったのでとても難しかった。ただ、そのことで社会に関心を持ち、選挙の大切さも分かったのでとても良い講座だった。【財政の力で未来の日本を救え！】

◇今まで国際関係学の領域について、国と国の関係を学ぶイメージしかなかったけれど、各国の国内情勢や異文化理解のことも学ぶことができるということがわかった。また、目に見える暴力(戦争やテロなど)だけに注目していたが、目に見えない暴力(差別や難民など)にも目を配るべきだと気付かされた。

【国際関係を学んでみませんか】

◇薬学部に入るのがどれだけ困難なことなのかを改めて知り、さらに興味が湧いた。「目指す」が「絶対になる」になった。面白かった！というのもあるが、一番は講師の人の説明がすごくわかりやすかった。薬学部に入ってから学部の雰囲気や科目、入前の学費や設備からどう志望校を決めるべきか、薬剤師の研修ではどういったことをするのか、端から端まで多くのことを教えていただいた。この度は、本当にありがとうございました。

【薬学部での学びと薬剤師として働くということ】

【今月の注目講座】

“3D”CAD で設計の疑似体験

これまでにも GSP ではいろいろな「本物」に触れる機会を準備してきましたが、この講座もまぎれもない「本物」と出会える場でした。プロの建築士やデザイナーが使用する端末が生徒一人ひとりに貸与されるとともに、11 名もの建築士と CAD のソフトメーカーの担当者から指導を受けるという恵まれた環境下で講座が展開されたのです。

この講座には受験に向けて日夜勉強に励んでいる 3 年生も参加しており、「この GSP に参加して将来の見通しが立った気がしました。パソコンでの設計は自分がやってみたかったことなので、それを高校生時に体験させてもらえてすごく嬉しくて、特別な経験になりました」という感想を残してくれました。このような頑張る星稜生のために協力してくる外部講師の方々に、改めて感謝の意を表したいと思います。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 5 号

2024 年 10 月 19 日





【写真左上】ピアノの実技指導

【写真左下】本当の自分と自分の声に出会う声と音楽の授業

【写真右上】Gender in Japan

【写真右下】「昔話法廷」を通して、考える力を養おう！

自分を表現する！歌で、ピアノで、プレゼンテーションで

「コミュニケーション能力」という言葉を様々な場面で見聞きすることがあります。その重要性を否定する人はいないでしょう。問題は、どのように養成して、どう発揮するか。GSPでは、生徒が自然にコミュニケーション能力を高められるような講座を提供しています。今回はピアノの実技指導、歌による自己表現の講座で技能や心得を学ぶことができ、他の講座でもディスカッションやプレゼンテーションの場でそれを発揮する場面がありました。

【GSPを受講した生徒の感想】

◇受験前の指導だったので、緊張状態を経験することもでき非常にありがたかったです。いつも1人の先生に習っているので他の視点からのアドバイスを受けることができたのが嬉しかったです。貴重な経験になりました。音色などについても教えていただき、他の人の演奏も聴いて「自分もこんな風に弾けるようになりたいな」とすごく刺激になりました。

【ピアノの実技指導】

◇専門の方に音の表現の仕方を習うことができ、とても貴重な経験ができました。最初は、正直周りの人の表現についていけないし、自分の表現というのに抵抗する気持ちがあったけど、先生の表現を見ていたら自分もそんな風に音を楽しみたいと思うことができました。また、同じ曲でもその曲に対する捉え方、表現の仕方ですべて別の雰囲気曲が生まれるのだと思うと、音楽って面白いと思うことができました。【本当の自分と自分の声に出会う”答えのない”声と音楽の授業】

◇相手の話を聴くときは、一度自分の中で受け入れて考えてみるという間が自分にとっても相手にとっても大切なんだと感じました。また、今自分が思っていることを書き出してみるとネガティブなこともあるけれど同じくらいポジティブなこともあり、どれも自分の一部であるんだなということがわかりました。

【相手の話を聴く上で大切なことは？】

【今月の注目講座】

宇宙をあやつる暗黒物質と暗黒エネルギー

古代文明が成立した頃から研究の対象となり、現代社会における科学の諸分野の成果をもってしても謎の解明に至らないのが宇宙です。これまでに偉大な科学者が宇宙の謎の解明に挑んできましたが、今回山形大学からお招きした講師もそんな挑戦者の一人でした。

宇宙においては恒星の存在感が大きいが、宇宙の全質量に対しては十分の一にも満たない。惑星や衛星をもってしても宇宙の質量全体に遠く及ばない。これを説明するために暗黒物質が存在すると仮定するといろいろな理論が成り立つ。この思考プロセスは、高校生が取り組む総合探究そのものだと感じました。問いを立て、仮説を立て、いろいろな手段を講じて検証する。この講義を聞きながら、生徒は「探究・研究とは何か」ははっきりとイメージをつかむことができたでしょう。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 6 号

2024 年 11 月 2 日





【写真左上】自分も家族も癒されるフットオイルトリートメント講座 【写真右上】ワークショップを用いた間取りづくり
【写真左下】社会に必要な仕組みをつくるために 【写真右下】電動ろくろ体験

スポーツの秋、芸術の秋、学問の秋、GSP の秋

「下半身・体幹強化をからだのバネに活かすトレーニング」において競技力向上を図ろうとする生徒、「電動ろくろ体験」において世界に一つしかないお皿をつくらうとする生徒、「白亜系の恐竜化石発掘調査と研究」を受講して古生物学に関する学びを深めようとする生徒、その他様々な目的を持った生徒が今回の GSP に参加しました。秋は何をするにもいい季節といわれますが、この取り組みが近い将来、大きな実を結ぶことでしょう。

【GSP を受講した生徒の感想】

◇日本の刀と西洋の剣の違いについて、歴史やゲームの知識を交えながら理解することができました。興味のある分野と関連付けることで歴史の知識がただ覚えるだけのものではなく、興味深いものに変わっていく感覚を感じられました。総合探究を進める上で、こういうふうにスライドを作り説明していくか、大きな指針になりました。**【なぜ日本には名刀が実在し、世界の名剣は神話だけなのか】**

◇子供と大人では物事の感じ方が違うという点が面白かったです。感じ方・捉え方が変われば表現の仕方も変わるという当たり前のことに気がつきました。今まで、子供を見ている可愛いなとか思わなかったけれど、これからはどんなことを思っているのか行動をしているのか考えたいと思いました。**【発達のふしぎー子どもがそでつ道筋とその原動力ー】**

◇股関節の位置の確認、股関節のストレッチの仕方、トレーニングの仕方を教えてもらった。自分の今の股関節の状態を調べてもらい、どうストレッチ・トレーニングをしたらいいのかわかってもらえたので、今後の練習に活かせると思った。女性に多いのが歳を重ねて腰（股関節）が硬くなり腰を曲げて歩く姿勢になってしまうことなので、これからの股関節のストレッチやトレーニングが大事であるということがわかった。**【下半身・体幹強化をからだのバネに活かすトレーニング】**

【今月の注目講座】

好きな着物を着て金沢市内を散策しよう！

連日、金沢市内は国内外からの観光客でにぎわっています。コロナ禍前をはるかに上回る状況で、新幹線効果だけではない盛り上がりが見られますが、そんな金沢市内を高校生が着物で自由に散策する講座を実施しました。

普段は手を通せない着物であっても GSP 講座であれば積極的にチャレンジすることができます。その生徒たちの姿勢を見てくれていたのか、当日は完璧ともいえる秋晴れの空でした。金沢駅前のお店で着付けを終えた生徒たちは、記念撮影場所の鼓門に移動する最中にも多くの外国人から声を掛けられていましたが、コミュニケーションに応じる生徒たちの表情は天候に勝るほど晴れやかなものでした。このような経験を通して、日本の文化にも理解のある真の国際人になってほしいと思います。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 7 号

2024 年 11 月 16 日





【写真左上】法律概論-憲法から刑法・民法・訴訟法まで- 【写真右上】小児科病棟ってどんなところ？
 【写真左下】VR・AIを活用した未来医療を体験！ 【写真右下】『文房四宝』を楽しもう

過去に学び、今を理解し、未来を見通す力をつける

GSPではVUCA時代（未来予測が困難な状況）に対応できる人間の育成を目指して様々な講座を展開していますが、今回も医療や法学、環境・災害について学べる講座や将来の職業について理解を深める講座が開講されました。この世の中、変化していくものは多いですが、変わらないものもあります。その変わらないものも大切にしながら、星稜は今後も石川県で一番の教育機関として社会に役立つ人間を育てて参ります。

【GSPを受講した生徒の感想】

◇法学部に行きたいという気持ちがより一層強くなりました。現在話題となっている訴訟をもとに現代社会の問題点や、法律と法律がぶつかり合った時にどのような考え方で考えればいいのかを教えていただきました。正解のない問題に対し、時代の流れに伴い、法の解釈や法律の改訂などを常に行っていく必要があるんだと感じました。[法律概論-憲法から刑法・民法・訴訟法まで-]

◇人の思いやりに触れてすごく嬉しい気持ちになりました。寒い中で活動していたので、募金してくれた人に「寒い中頑張っね」とか、「応援してるよ」とか言ってもらえて元気をもらい、もっと頑張ろうと思うことができました。今度どこかで募金活動をしていたら、私も募金に協力しようと思いました。

【海外たすけあい募金活動】

◇班に分かれてボードゲームをした。各マスに行政書士の仕事やどんな場面で助けになってくれるのかが書いてあり、行政書士が思っていたよりも身近な存在であることがわかった。会社を設立するには大抵の場合許可が必要であること、農地を転用する際も許可を取らなければならないことが理解できた。行政書士は婚姻や離婚の際の書類、遺言書などまで見てくれるそうなのでいつか困ったときは相談したい。[ボードゲームから学ぶ、生活に必要な手続きと知恵]

【今月の注目講座】

海外たすけあい募金活動

日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンに、本校からも有志を募って参加しました。「ウクライナ人道危機」や「イスラエル・ガザ人道危機」など、日本にまでその深刻さが伝わってくる国際問題に対して何とか力になりたいと考える生徒たちは、寒空のもとでしたが金沢フォーラス前に声を響かせながら、熱心に募金活動を展開していました。

今回集まった募金 26,072 円は日本赤十字社石川県支部にお預けし、紛争や貧困で苦しい状況に置かれている人たちの生活支援や医療活動に役立てられることとなります。募金活動に参加してくれた生徒、募金してくれた人たちに、この場を借りて感謝申し上げます。



GSP JOURNAL

2024 年度 第 8 号

2024 年 12 月 14 日

